



令和元年横歴秋の歴史散歩

海洋日本の歴史の変遷と共に歩んだ港町「浦賀」

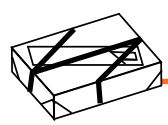
浦賀は古代より日本の海上交通の拠点として発展してきた。江戸湾の入り口にあり、向かいには房総富津、右に出ると相模湾。鎌倉・真鶴・熱海・伊東・下田、伊豆大島は目と鼻の先にある。そんな地政学的条件にあることからいつの時代も歴史の表舞台として存在した。



令和元年11月24日（日曜日）

集合場所 京浜急行 浦賀駅 改札口前 AM11:00

参加費: 1000円（お茶付）
申込み不用当日自由参加



昼食は各自お弁当をご持参ください。集合場所に京急ストアがあります。
当日参加者には横歴特製カラーガイドリーフをご用意します。

【横浜→浦賀・京浜急行】

*途中堀ノ内で浦賀行乗換

①京急(品川09:58)→横浜10:16→(上大岡10:25)→(堀ノ内10:45)浦賀10:52

②京急(品川09:48)→横浜10:06→(上大岡10:15)→(堀ノ内10:35)浦賀10:42

③京急(品川09:38)→横浜09:56→(上大岡10:05)→(堀ノ内10:24)浦賀10:32

〈他の路線からのアクセス〉
*ブルーライン上大岡

⑨洲崎会所…江戸初期洲崎の山手に三浦按針屋敷があった。
⑩三浦稲荷…文化6年(1809)6月に雷電為右衛門が相撲の興行を行った。

⑪東林寺…浦賀町民の誇り中島三郎助の墓所。

⑫東叶神社…元禄5年(1692)に浦賀村が東と西に分かれた時、西叶を遷して祀った。

⑬浦賀城跡…東叶神社拝殿の裏山にある後北条氏の出城。太平洋横断を祈念した勝海舟がここで断食をした。

⑭東耀稲荷(須賀神社)…浦賀の繁栄を築いた干鯛問屋湯浅屋の屋敷守と言われる神社。

見どころ押えどころ

①郷土資料館浦賀文化センター…浦賀奉行所や中島三郎助、ペリー艦隊等の模型を見ながら散歩の予習。

②西叶神社…文覚上人が源氏の再興を願って創建。



③東福寺…幕府御朱印の禅寺。酒井抱一の「亀」絵馬必見。



境内からの港の眺望は絶景！

④船番所跡…江戸への荷改めが昼夜行われた。下田と東西浦賀の回船問屋100軒余が担当。

⑤為朝神社…浜町の漁民が、鎮西八郎為朝の木像を引き上げ、地藏堂に安置し祈願した。



⑥浦賀奉行所跡…享保5年(1720)下田から移る。船改め、海難救助や地方役所の仕事を担った。幕末は江戸を防備する海防の最前線として役割を果たすようになる。

⑦渡船…享保5年(1720)浦賀奉行所が設置。東西1000軒の市民往来。

⑧徳田屋敷跡…ペリー来航時、吉田松陰と佐久間象山はここで時局を論じあう。

★[小雨決行]天候不順で開催が危ぶまれる場合は当日早朝「催行可否」を当会ホームページに掲示します。

問い合わせ先/上野090-5543-0869 高尾090-3212-7343